

令和3年度 佐野高校 第2回学校運営協議会 報告

日時： 令和3年11月6日（土）午前10時00分～午前11時55分

場所： 大阪府立佐野高等学校 校長室

参加者：

<協議会委員>（敬称略）

大阪府立大学 大学院人間社会システム科学研究科 教授

伊井 直比呂

本校 PTA 会長

宮原 純一

本校同窓会会長

南 登章生

泉佐野商工会議所 事務理事

上野 公義

大阪大学大学院人間科学研究科附属 未来共創センター 特任教授

榎井 緑

泉佐野市立 佐野中学校 学校長

古谷 秋雄

<事務局>

校長

南部 潔

教頭

藤原 和美

事務長

佃 計司

首席（学習進路指導部長兼務）

宮前 恵己

首席（総務生徒指導部長兼務）

慈幸 正晃

進路指導課長

山中 智香子

1年担任

大河内 郁見

進路指導課

木山 雄太

資料：

1. 令和3年度 大阪府立佐野高等学校 第1回学校運営協議会（報告）（案）
2. 2021 SANO マネージメントシート進捗状況
3. 令和2年度進路概況
4. 令和3年度第1回授業アンケート結果
5. 令和4年度使用教科書採択一覧

意見聴取内容：

意見：

Q： コロナ渦において、保護者・生徒・教員にマイナス面はないか。

A： 現在休校したのは1日のみであり、生徒は登校できている状況である。

家庭での感染があった場合は、登校できない生徒もいたが、希望者にはオンライン授業や、プリントを届けるなどの学習保障をしている。教職員に関しては、負担が増している。

行事については、縮小開催となっても、中止は避ける方向で取り組んできた。保護者が参加することはほぼできなかったが、ホームページ等で情報共有を行っている。

Q： コロナ渦で、国際交流ができないが、それに代わる取り組みはあるか。

A： 1年生の総合的な探究の時間では、JICA や、フリーザチルドレンの方々によるオンライン講演や、テラ・ルネッサンスのカンボジアとのオンライン交流などを行った。3年生のフランス語選択の授業では、フランス総領事を招待する予定である。

Q： GIGA スクール構想で、一人一台端末が導入されたが、SNS の活用の仕方を含めた情報モラルについてどう指導しているか。

A： 佐野 ICT サポートチームを立ち上げ、SNS の活用など、どのように制限するのかを一つ一つチームで確認・議論している。例えば、YouTube の利用については、不適切なサイト等にアクセスできないことを教育委員会に確認した上で、生徒の利用を許可する手続きを行った。

Q： 一人一台端末を活用して、具体物を見ることができるようになるのは良いことだが、自分で考える力や想像力をつける機会が減っているのではないか。

A： 具体物を見せるだけでなく、生徒の想像を掻き立て、色々な視点から考えられる機会を与えることに端末を活用していきたい。例えば、授業内で、生徒が端末で送信した回答をその場で集計し、グラフや図で可視化して共有するという活用方法を取り入れている教員もいる。授業での端末の活用は、教員個人の力量によるところが大きいのが現状だが、教員間での研修や情報共有を行うことで、授業内での端末の活用を進めていきたい。

Q： 進路実績は大切だが、子どもたちが自分の中での目標への達成感を得られているのか。卒業後、生徒がどのように道を切り開いていったのかを在校生に伝えていけばよいのではないか。

A： ・生徒一人ひとりが立てる目標である、「パーソナルベスト」を学校全体で支援している。
・現在、卒業生の様子を在校生に知らせることは十分にできていないので、手立てを考えたい。

Q： コロナ渦で、不登校の生徒に変化はあったか。

A： 現在、長期的に欠席が続いている生徒はいない。昨年度は休校期間が長く、進路変更を考える生徒もいたが、今年は少ない。少し休みが増えてきた、朝登校し辛い、などの兆候が見られた早い段階で保護者や本人への対応ができていることが理由と考えられる。スクールカウンセラーの利用を含め、本人や保護者との対話する中で支援の方法を考え、実行している。

Q： コロナ渦で家庭の経済状況により、学校生活を送りにくい生徒がいるのではないか。そのような生徒に対して福祉的な支援が必要ではないか。

A： ・ヤングケアラーのアンケートを実施したので、結果を受け、適切な支援につなげていきたい。一人一台端末の活用において、自宅にネット環境があるかの調査を行った。Wi-Fi ルーターの貸し出しなど家庭で予定されていない支出については、カバーをする体制を整えている。
・現状、教員が早期に対応している面が大きいですが、今後、スクールソーシャルワーカーとの連携も増やしていきたい。

Q： 国際系学科の人气が低下しているが、どう考えるか。

A： ・コロナ渦で海外研修が行えないことが1つの要因ではないかと考えている。しかし、英語や海外に興味のある生徒は一定数いると思うので、学校生活や授業でどのような活動をし、どのような学びができるのかを発信していきたい。また、本校はユネスコスクールに加盟しているが、ユネスコスクールについて中学生にあまり知られていないようなので、周知していきたい。

・グローバル化が進んでいる中で、国際的な視野を持った人材は必要であると考えてるので、それを念頭にこのまま教育活動を進めていきたい。